

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・井上	写真・後藤
山行版	NO. 1989		
日 時	2022年5月15日(日)曇り・涼しい		
山 域	西丹沢・檜洞丸(1601m)		
コース	長泉 5:00-西丹沢自然教室駐車場 6:14-自然教室発 6:32-ツツジ新道 -ゴウラ沢東沢出会い渡渉 7:35-檜洞丸頂上 10:10-下山開始 11:00-駐車場 13:45 -温泉-長泉 16:00		
累計標高差	：上り・下り 自然教室 550m～檜洞丸 1601m=1051m		
藪漕度	上り・下り なし		
難易度	非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい		
<h2>シロヤシオのトンネル</h2>			
参加者	後藤、伊藤、山田、井上=4名		
ど〜が〜(動画)	<a href="http://susono-reihou.babyblue.jp/0000-27.mp4">http://susono-reihou.babyblue.jp/0000-27.mp4</a>		

雨の天気の間山の山行。天気は曇り。目的はシロヤシオ。登山は5月3日の金時山の新柴コース以来の約10日ぶりだった(新柴コース情報は後述)。

計画は当初、ツツジ新道だったが、メール連絡で登りは犬越路経由、下りはバリエーション尾根に変わったが、その後、メンバー構成を考慮し、まずは最短ルートの新道に登ることにした。

西丹沢自然教室の駐車場はいつも混むので、今回は1時間早く出発した。駐車場にはすでに30台くらい停まっていて、残りのスペースもわずかとなっていた。1時間早い出発は正解だった。前日が雨だったせいかキャンプ場のテントは最近にしては少なかった。



道路を北に歩きツツジ新道入口から登る。道沿いの沢にはいつも見ない量の水が流れていた。湿った道を進む。トラバースを過ぎ、ゴウラ沢と東沢の出会いで2回渡渉した。

多少靴は濡れたがなんとか水にはまることなく石の上をぴょんぴょんと渡った。水に落ちるのは嫌だが、非日常のこのスリルはなかなか面白い。沢を越えると、地図では頂上ま





バランスが難しい渡渉

で等高線が詰まった尾根を登り始める。ここに樅の巨木があった。樅は「自然度の指針」といわれる。西丹沢は、まだ豊かな自然があるということか。

地面を見て登っていると、やがてシロヤシオの花が落ち始め、顔を持ち上げると見事に咲いていた。早くも下山者がいた。花の様子を聞くと、「今年は良い」の返事。期待が膨らむ。

登るにつれて開花した木がどんどん増え、とうとう白い花のトンネルとなった。ところ



樅の巨木



トウゴクミツバツツジ



どこかで紫のミツバツツジも咲いていて、シロヤシオの白とミツバツツジの紫がコントラストとなり美しい。満開の山の中腹を過ぎ、頂上に近づくと徐々に花はつぼみになって、これからの開花が期待される。



素晴らしい花

頂上に続く木道を行くと、白い長靴を履いてカメラを持った人が登山道を外れバイケイソウの中を歩いていた。ブナの葉の出方（展葉）を定点観察しているようだ。





環境調査会社から委託を受け、月曜と木曜に調査をしている。天気予報で翌日の月曜日  
天気が悪そうなので、日曜日だが本日の調査になったとのこと。仕事なので寒い時でも登  
るので大変だと言っていた。



ブナの展葉調査



上部登山道

10:10 檜洞丸登頂。いつもより1時間早く出発し正午前に到着したので、頂上に人は少  
ない。ベンチも使用できた。曇りのせいか肌寒い。山田さんは登山3回目にして初の頂上  
ビールを味わった。半袖の女性を含む若い男女4人グループが登山道ではない所（檜洞丸・  
北尾根）から現れた。

バリエーションがご専門とのこと。ご苦労様です。また、58歳埼玉県の単独オヤジが、  
尾根を登ってきたが大変だった、登る尾根を間違えたとぼやいていた。聞くと私たちが下  
りに使おうとしていたバリエーションの尾根だった。後藤さんに言わせると、この尾根を  
登りに使うのはおかしいとのこと。私は行ったことがないのでよくわからない。



11時、下山開始。ガスがでてきた。下りはバリエーションを中止し、登ってきたツツジ  
新道を下ることにした。まだ昼前だったので、多くの登山者が登ってきた。

みんな苦しそうだった。すでに下りの私たちは「花がきれいでしたよ」「がんばってください」と涼しげに励ました。この中で、浜松からきた15人の団体があった。

同じ道を下ったので、また東沢の渡渉をした。帰りもなんとか落ちずに渡ることができた。13:45 駐車場着。登り 3 時間 39 分、下り 2 時間 45 分。標高差 1051m なのでまあまあだ。下りは混んで時間が掛かった。

温泉は、以前は経営が時之栖だったが「スプリングビレッジ」に変わり、料金も以前は休日 800 円だったが 1000 円になっていた。16 時、長泉に到着し下土狩で反省会をして 19 時に解散。

#### (おまけ) 金時山の新芝コース情報

2020 年 7 月の大雨で足柄公園方面からの北面のコースの階段が崩れ、通行禁止となっていた。今年の 4 月には復旧工事が終わると小山町観光協会から電話で聞いていたがいまだに通行止めが解除されない。

しかし、登山の記録をネットで見るとどうやら迂回路ができていることがわかり、5 月 3 日に夫婦で行ってみた。登り口にも一応通行止めの表示はあったが、何人か登っていた。

従来の十二支のシールが貼られた 12 か所の階段の内、何か所か崩れて流されてまだ修復されていないが、ロープで迂回路が設置されていた。多少はスリリングになり、以前より面白いコースになったと思う。

階段をえっちらおっちらと登るのは毎度苦痛だが、地形に変化がある現状の方が面白い。南面の金時神社からのコースは人が多くうんざりする。この日も頂上の方は過密状態だった。

新柴コースは足柄駅からスタートでき、人が少ない貴重なコースだ。今回も、足柄公園からの道に合流するまで他の誰とも出会わなかった。

#### その他の期日 (後藤)

1. ゴーラ沢までの途中、東沢で堰堤工事をやっていた。コンクリートパイプあり。
2. ゴーラ沢手前の支沢で大きな崩壊があった。
3. I、Y に地図学習。沢の右岸左岸、沢の右俣・左俣、沢の本流支流の見分け方、等高線の名称、などなど。
4. 今回はユックリ・ノンビリ上った。しかし、時間はいつもと大きく変わらなかった。ユックリ・ノンビリは、精神的にも肉体的にも安気だった。
5. 北尾根を上った若い衆と交流。気持ちが良い方だった。半そで女子も元気イッパイ。
6. 下山時、親子風情のかなり年配の方が、苦しそうに上って来た。80 歳くらいかと思ったので、「頑張って」と激励。年齢を聞くと 70 歳といった。私も年齢を伝え、「まだまだ、お若い」更に激励した。だけど、これって「ちょっとイヤらしい??!!」
7. 12 時を回っても、登山者はゾロゾロ続く。多くの方は、昼食を摂っていない様子。遅い方はバスで入山した方。谷峨駅発バス始発は 7:41 ~ 8:05 着、二番が 8:51 ~ 9:15 着。遅い時間に歩いている方は、恐らく二番バスの方だろう。これでは登山開始時間としては遅い。帰りの当然、バス時間の制約がある。急がされるのは「安登山の意味」からもお勧めできない。頑張って、始発バスで上るべきだろう。
8. 「シロヤシオ (白八染) = ゴヨウツツジ (五葉躑躅)」は、皇室・愛子さまの「お印」という。那須の別荘に沢山開花するという。

以上